



使用者向け使用の手引き

ご使用前に添付文書をよく読んでお使いください。

一般用SARS コロナウイルス抗原キット

Panbio™ COVID-19 Antigen ラピッド テスト (一般用)



目次	使用者向けの情報提供資料について.....	2
	キットの内容及び成分	2
	使用目的	2
	検査薬でわかること.....	2
	検査薬の使い方	3
	判定に関する注意	7
	受診方法の相談について	8
	廃棄に関する注意について	8
	お問い合わせ先	8

使用者向けの情報提供資料について

ご使用前に添付文書をよく読んでお使いください。

キットの内容及び成分

☐ テストデバイス (反応系に關与する成分)

抗SARS-CoV-2 マウスモノクローナル抗体

抗SARS-CoV-2 ヒトモノクローナル抗体結合金コロイド粒子

☐ 抽出液 (検体抽出容器)

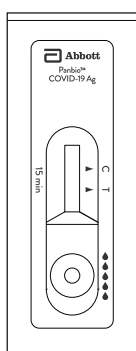
☐ 検体抽出容器立て

(キット箱おもて面の
丸い切り取り線を切り取り使用)

☐ 滅菌綿棒

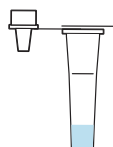
☐ 簡易操作ガイド

☐ チャック付き袋



テストデバイス

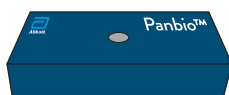
滴下ノズル



抽出液
(検体抽出容器)



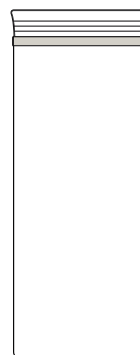
滅菌綿棒



検体抽出容器立て



簡易操作ガイド



チャック付き袋

使用目的

鼻腔ぬぐい液中のSARS-CoV-2 抗原の検出 (SARS-CoV-2 感染疑いの判定補助)

検査薬でわかること

体調が気になる場合等にセルフチェックとして本キットを使用し、陽性の場合には適切に医療機関を受診してください。

陰性の場合でも、偽陰性 (過って陰性と判定されること) の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。症状がない場合であっても、引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策を続けてください。

※お住まいの地域の自治体で医療機関の受診方法に関する案内が出ている場合は、その案内にしたがって適切に医療機関の受診等を行ってください。

※その他、濃厚接触者となった場合等における活用方法については、厚生労働省から発出された最新の情報を参照してください。

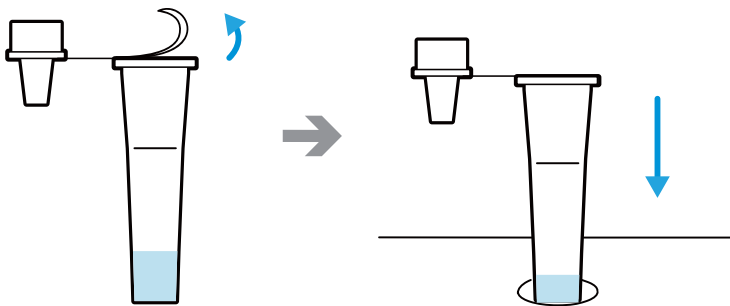
検査薬の使い方

- ご使用前に付属の添付文書をよく読んでお使いください。
- 検査の前に手を洗い、清浄な状態にしてください。
- 操作ビデオ (アニメーション) は、こちらをご確認ください。



< 検査の準備 >

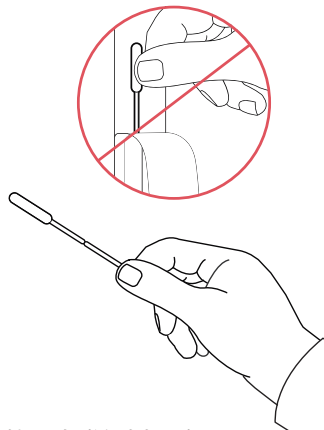
抽出液の入った検体抽出容器を垂直に保ち、シールを開封し、検体抽出容器立てに置きます。
(キット箱おもて面の丸い切り取り線を切り取り使用)



• 検体抽出容器に入っている液はこぼれないように気を付けてください。

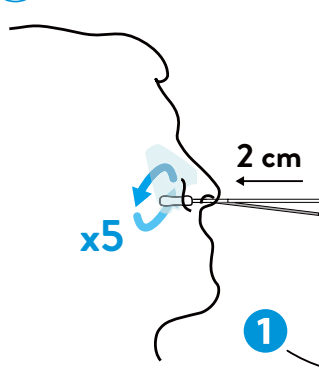
< 検体採取（鼻腔ぬぐい液の自己採取） >

①



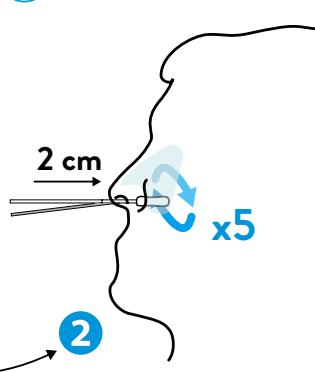
滅菌綿棒の先（綿球部分）を触らずに袋から取り出してください。

②



図のように鼻の穴にゆっくり滅菌綿棒を約2cm挿入します。滅菌綿棒を鼻の内壁に沿わせて5回転させます。

③

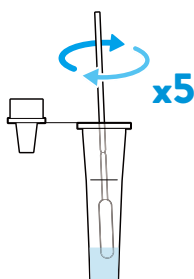


滅菌綿棒をゆっくりと取り出し、同じ綿棒でもう一方の鼻の穴から検体採取を繰り返します。検体採取後の綿棒が十分に湿っていることを確認してください。

< 試料調製 >

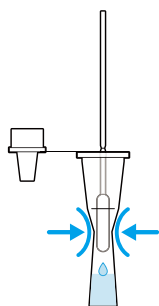
検体を採取後、速やかに試料調製を行ってください。

①



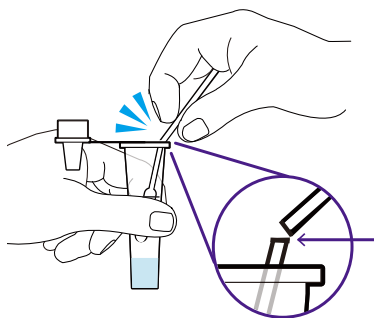
抽出液に検体採取後の綿棒の綿球部分を浸し、管壁に押し付けながら、少なくとも5回は回転させます。

②



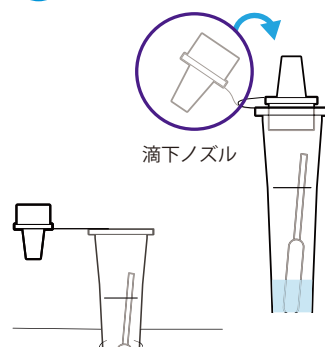
その後、検体抽出容器の外側から綿球を指で押さえながら、検体を搾り出します。

③



綿棒の軸のブレイクポイントで軸を折ります。

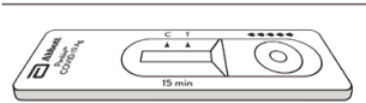
④



検体抽出容器立てに置き、滴下ノズルをしっかりと取り付けます。

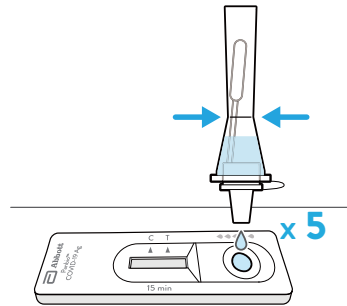
< 試料滴下 >

①



アルミ袋からテストデバイスを取り出し、平らな面に置きます。

②

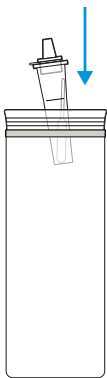


検体抽出容器の滴下ノズルから、試料液5滴をテストデバイスの検体添加部に垂直に滴下します。



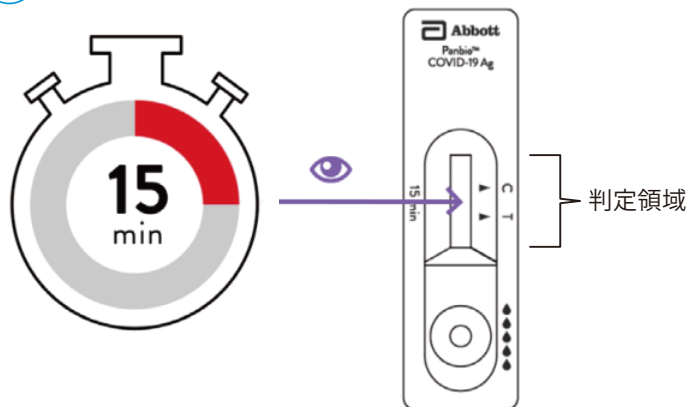
- ・反応が終了するまでテストデバイスを動かさないでください。
- ・検体抽出容器内での泡の発生は不正確な結果となる可能性があります。適切な液量が滴下できない場合は、滴下ノズルのつまりが考えられるため、つまりを取るため検体抽出容器を軽く振ってください。

③



使用済み検体抽出容器はチャック付き袋にいらしてください。

④

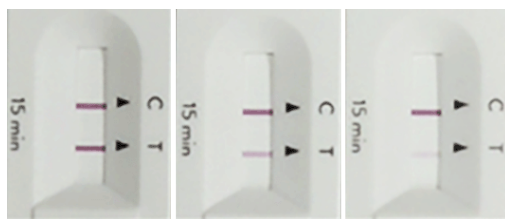
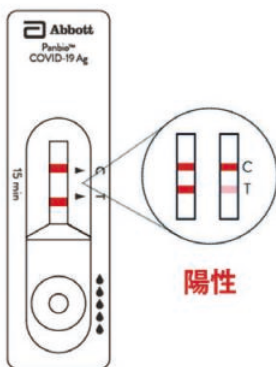


15分後にテストデバイスの判定領域を観察し、ラインの有無により判定します。

反応から20分以上過ぎたテストデバイスは判定に使用しないでください。

< 判定 >

陽性



テストライン (T) およびコントロールライン (C) にラインが認められた場合、陽性となります。

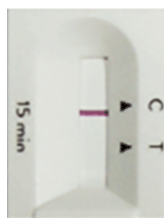
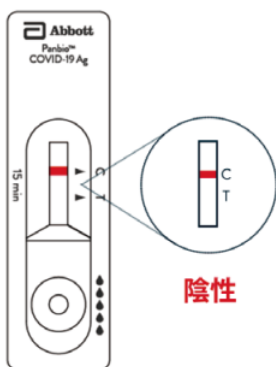
新型コロナウイルス抗原が検出されました。

お住まいの地域の自治体の最新の情報等も確認し、適切に医療機関の受診等を行ってください。



・テストライン (T) が認められればその濃淡にかかわらずラインありとしてください。

陰性



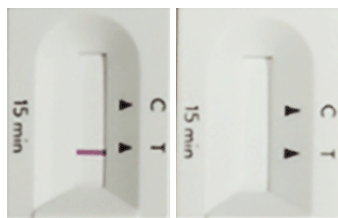
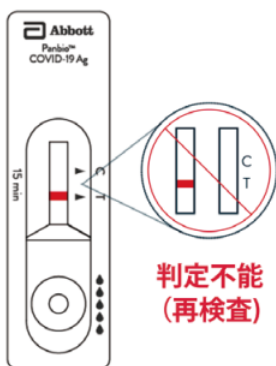
コントロールライン (C) にのみラインが認められ、テストライン (T) にはラインが認められなかった場合、陰性となります。

新型コロナウイルス抗原が検出されませんでした。

偽陰性 (過って陰性と判定されること) の可能性も考慮し、症状がある場合には陽性であった場合と同様に、適切に医療機関の受診等を行ってください。

また、陰性であったとしても引き続き感染予防策を行ってください。

判定不能 (再検査)

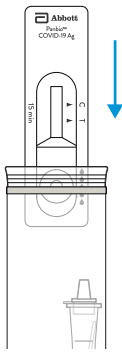


コントロールライン (C) にラインが認められなかった場合、判定不能となります。

たとえ、テストライン (T) が認められたとしても、コントロールライン (C) にラインが認められないため、検査結果は無効です。新しいテストデバイスを用いて、もう一度、検査を行ってください。

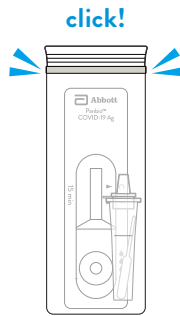
< 廃棄 >

①



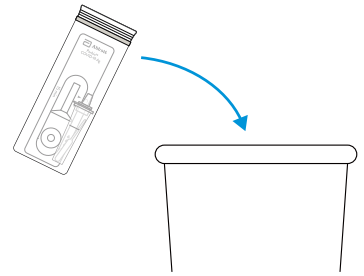
テストデバイスをチャック付き袋にいます。

②



チャック付き袋はしっかりとしめます。

③



チャック付き袋を廃棄してください。

判定に関する注意

- ・指定された静置時間を過ぎた場合、テストデバイス上に表示される結果が変わることがありますので、必ず指定された時間で判定してください。
- ・テストデバイス上に表示される結果が明瞭でなく、判定が困難である場合には、陽性であった場合と同様に適切に医療機関の受診等を行ってください。
- ・ラインが認められればその濃淡にかかわらずラインありと判定してください。
- ・重症急性呼吸器症候群コロナウイルス (SARS-CoV) に感染していた場合、本品で陽性の結果が出る場合があります (交差反応)。
- ・検体に存在、または鼻腔に添加される可能性のある物質について評価した結果、結果へ影響はありませんでした (妨害物質・妨害薬剤)。

受診方法の相談について

結果等を踏まえて受診する場合は、まずはかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話等で相談してください。

※院内感染を防止するため、緊急の場合を除いて、連絡なく医療機関に直接受診することは控えてください。かかりつけ医がないなど相談先に迷った場合は「受診・相談センター」(地域により名称が異なることがあります)に相談してください。

お近くの診療可能な医療機関や受診方法のご案内があります。下記URLにおいて、各都道府県が公表している、相談・医療に関する情報や受診・相談センターの連絡先がまとめられています。



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

廃棄に関する注意について

本キットや検体採取に使用した綿棒などは家庭ごみとして各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

使用後の綿棒等は感染性を有するおそれがありますので、廃棄時の取扱いには十分注意し、使用したキット(綿棒、検体抽出容器等を含む)をごみ袋に入れて、しっかりしばって封をする、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。



お問い合わせ先

 大正製薬株式会社 お客様119番室

TEL 03-3985-1800 (受付時間は、ホームページにてご確認ください)

<https://www.taisho.co.jp/>

製造販売元

アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台357

©2023 Abbott. All rights reserved. ここで表示される全ての商標はAbbott、およびそのグループ会社が保有する商標です。表示されている画像はイメージです。
COL-22256-01 09/23

